


会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 第3回横山地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時		令和6年9月9日(月) 19時30分～21時15分		
開催場所		横山公民館 1階 大会議室		
出席者	委員	12人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	3人(中央6地区まちづくりセンター所長 ほか2人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
傍聴者数		0人		
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) まちづくり会議の検討課題について</p> <p>(2) 地区まちづくりを考える懇談会について(テーマ検討)</p> <p>(3) その他</p> <p>・第47回横山地区運動会について</p> <p>3 閉 会</p>		
		 <p>横山地区マスコットキャラクター よこぞうくん</p>		

議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

事務局が開会

2 議 題

(1) まちづくり会議の検討課題について

会長から、検討課題にかかる事前調査票と委員からの意見を踏まえて、今年度の検討課題を決定したい旨説明があり、出席委員から意見発表が行われた。

<主な意見・質疑>

○自転車の危険走行が散見されるため、自転車走行のルール・マナー啓発が必要である。情報収集が難しい子どもや高齢者へ「自転車利用ハンドブック」を配布してはどうか。

○高齢者だけでなく地域全体での自転車走行ルール・マナーの啓発が必要である。

○トラック交通安全教室の充実化、継続に向けて企業の支援を募る。

○横山小学校前の横断歩道の赤色塗装化を小学校の半径500mに広げて、モデル地区として実施し、検証する。

○昨今のゲリラ豪雨、雷雨や台風、南海トラフ地震臨時情報等から、住民の防災の機運の高まりを感じるため、親しみやすいゲーム形式による防災意識の啓蒙活動や取組を行った方が良いと考える。

○地震発災時の初動を詳しく学ぶ。避難所の混雑やトラブル回避のための在宅避難を推進する。

○台風など一人で自宅にいる高齢者は不安になっている。緊急避難場所となっている公民館まで歩いてこれない方もいる。こうした不安を解消するため、防災訓練をこまめに開催いただきたい。

○ごみ置き場の確認や整備を行い、地域全体の環境衛生につなげる。

○ごみ袋の有料化と戸別収集の推進、ごみボックス設置によるモラルの向上。

- ペットボトルキャップの回収場所の増設。地区内を歩いてのごみ置き場環境の確認。(同じ場所で、曜日まちがいやカラスによる散乱等適正ではないごみ置き場が相変わらず散見される。)
- 自治会員減少に関して、退会防止や加入促進について議論したい。(公民館事業の集客・協力者数が課題)
- 子どもまちづくり会議を開催し、子どもの意見を聴取したい。(若年層の交流・参加機会の創出)
- 人員・担い手不足を背景に地域のイベントを集約することが必要と考えている。新たなイベントを行うのではなく、既存のイベントに新たな要素を加えることで既存事業の充実化、ジャンルを越えた課題への取組が実現される。(例えば、運動会に盆踊りやダンス、高齢者に人気のバザー等を追加。若者の参加も必要不可欠。)
- 分類個々の取組ではなく重層的な、昨今の社会の在り方の激変等の背景をふまえて将来を見据えた検討を時間をかけて行っていく。検討の結果をイベントの統合や参加の在り方、地域活性化交付金事業に反映していければよい。
- 自治会加入のメリットや意義についての説明責任を果たしていく必要がある。加入者数の減少は地域づくりの弱さになるため、仕組みの在り方を考える。
- 「交通安全」は身近な課題であり、手が付けやすい。子どもの安全・安心にも繋がるのでよい取組であると思う。
- まちづくり会議は地域がまちづくりに関する希望や夢を話し合う場と思ったが全てを網羅するのは難しいので、集中と選択で取組むのが望ましいと思う。
- 長い目を見た議論も大切だが、災害は今日起こることもある。検討課題を一つに絞り短期的な成果を目指すことも委員のモチベーションになると思う。
- 他地区でも結果、検討課題を1つに絞り取組んでいる。仮に交通安全をテーマとした場合、対象を高齢者と子どもとすれば、必然的に2つのグループ検討が可能となる。さらに通学路や自転車マナー等に細分化して進めることも考えられる。

●別の地区は複数の部会が、所属団体の取組を発表するなど協議に重きを置いている。

<結果>

事前調査票と委員の意見をもとに検討課題について議論を行った結果、今年度のまちづくり会議の検討課題は最も意見が多かった「交通安全」となった。

○今回決まった「交通安全」の取組について役員会で準備を行い、次回のまちづくり会議で2グループ程度でのグループワークを行う予定とする。

(2) 地区まちづくりを考える懇談会について（テーマ検討）

事務局から、資料に沿って説明がなされた。仮に2月の開催となると、テーマシートなどの必要書類の提出の期限は12月下旬となる。その後、役員から開催する方向で進めていきたいとの提案があり、了承された。

(3) その他

・第47回横山地区運動会について

末永館長から、地区運動会について資料に沿って説明を行った。

○コロナ禍前のまちづくり会議で「運動会で防災に関する競技を取り入れたい」と提案していた。今回の運動会の種目として防災リレーを企画した。

○今年度のまちづくり会議で話し合ってきたわけではないが、当日デモンストラーションを行うため、まちづくり会議の委員に協力をお願いしたい。

➡吉村委員、杉田委員、佐藤委員、北川委員に協力を依頼。

○公民館の尽力によって、兼ねてより議論していた課題を地区運動会にて実現いただくことに同じまちづくり会議の委員ではあるが御礼を申し上げる。

3 閉会

末永副会長が閉会

以上

令和6年度 第3回横山地区まちづくり会議 委員出欠席名簿

令和6年9月9日開催

	所 属 団 体 等	氏 名	備考	出欠席
1	横山地区自治会連合会／自主防災隊	会長／隊長 よしだ たかあき 吉田 貴亮	会長	○
2	横山地区自治会連合会	副会長 さかもと としみ 坂元 俊美		
3	横山地区社会福祉協議会	会長 たかはし としひろ 高橋 年廣	副会長	○
4	横山地区社会福祉協議会	理事 のほら たけし 野原 武		○
5	横山地区連合自主防災隊	防災専門員 よしむら きみかず 吉村 公一		○
6	横山地区民生委員児童委員協議会	会計 さとう あけみ 佐藤 あけみ		○
7	横山公民館	館長 すえなが あきこ 末永 暁子	副会長	○
8	相模原交通安全協会横山支部	支部長 かや ゆうじ 茅 祐司		
9	横山小学校PTA	副会長 おまた かずよ 小俣 和代		○
10	清新中学校PTA	副会長 まえはら めぐみ 前原 恵美		
11	横山地区青少年健全育成協議会	事務局長 きたがわ はるえ 北川 春恵		○
12	青少年指導委員	— いけだ なおひと 池田 直仁		○
13	スポーツ推進委員	— くさか えみこ 日下 恵美子		○
14	防犯指導員	— いなもと のりお 稲元 則夫		○
15	健康づくり普及員	理事 うちだ まさこ 内田 雅子		○
16	保護司	— やまいし みつお 山石 三男		
17	横山こどもセンター	館長 いちのせ じゅん 一瀬 純		
18	横山地域包括支援センター	センター長 すぎた くみこ 杉田 久美子		



第3回 横山地区まちづくり会議

Vol.16 2024年10月

横山地区
マスコットキャラクター
よこぞうくん
運動会ver.



- まちづくり会議の検討課題は「交通安全」に決定！
- 地区まちづくりを考える懇談会
役員から開催する方向の提案があり了承されました。
- 第47回横山地区運動会の協力員が決定しました。

まちづくり会議 検討課題について

意見集計結果 第1位 交通安全 10票 (第一希望7票) 第2位 防災 第3位 ゴミ

交通安全に関する主な意見

- ・自転車の危険走行について情報弱者である子どもや高齢者へ「自転車利用ハンドブック」を配布。
- ・地域全体での自転車走行ルール・マナーの啓発が必要。
- ・トラック交通安全教室の充実化、継続に向けて企業支援を募る。
- ・横山小学校前の横断歩道の赤色塗装化を小学校の半径500mに広げてモデル地区として実施する。

地区まちづくりを考える懇談会

開催日程決定！

令和7年2月3日(月)午後7時

@横山公民館

まちづくり会議は傍聴できます

- ◆まちづくり会議開始の15分前までに横山公民館へお越しください。
- ◆次回(第4回)は、10月21日(月)19時30分～開催
- ◆会議開催予定や会議録は区役所ホームページに掲載しています。QRコード→

